

【 高速度画像記録装置の製作と応用 】

【 産業用高速度カメラ、長時間記録、計測プログラミング、ハードディスク、SSD】

情報科学研究科・医用情報科学専攻

准教授 藤原 久志 FUJIWARA, Hisashi

研究シーズの概要

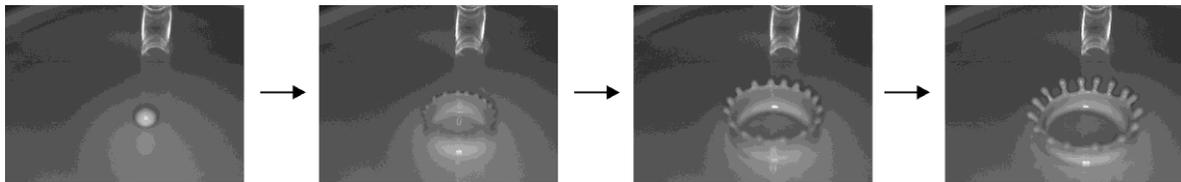
産業用高速度カメラとパーソナルコンピュータを用いて、高速度画像記録装置を作っています。画像撮影・表示・記録を行うプログラムを自作（＝計測プログラミング）しており、機器・部品費用を抑えることが可能です。ハードディスクもしくはSSDを用いることで、長時間連続の画像記録が可能です。

研究シーズの詳細

◆研究例◆

長時間に亘って不定期的に生ずる高速現象（＝トリガーをかけられない高速現象）の記録・解析

これまでに作成した装置の性能例としては、「640×480画素時：200枚/秒、60分連続記録」、「228×200画素時：1000枚/秒、80分連続記録」が挙げられます（ハードディスクもしくはSSD増設によりさらに長時間の記録も可能です）。長時間連続しての高速度記録が可能ですので、手軽に高速度撮影を行うことができます（下図参照）。



図：ミルククラウンの撮影例
 (200枚/秒 = 5ミリ秒間隔での撮影)

装置の特長を利用して、何時起こるか分からない高速現象の撮影・解析が可能となります。

想定される用途・応用例

- ◆生産現場での高速現象（不具合）の検出
- ◆スポーツでの動態解析

セールスポイント

装置を構成するカメラ・コンピュータの仕様作成・選定を自身で行い、画像撮影・表示・記録プログラムも自作しています。したがって、用途に応じた技術相談への対応が可能と考えています。

問い合わせ先：広島市立大学 社会連携センター

TEL:082-830-1764 FAX:082-830-1555

E-mail:office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

(情報科学部棟別館1F)